

総合的な学習の時間 「障がい者への理解を深めよう」

相模原市立宮上小学校

単元（題材）目標

- 様々な障がいについて理解を深め、社会には様々な人がいることを理解し、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。
- 同じ社会に生きる人間として、お互いを正しく理解し、ともに助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学び、日常の学級の活動に生かす。

（1）実施時期

10月初旬～中旬

（2）対象（学年等・人数）

5学年 109名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：5年所属3名

外部講師：3名（聴覚障がいの方2名、手話通訳1名）



（4）実施内容

※「聴覚障がい理解」「視覚障がい理解」「肢体障がい理解」の3つのコースを設定し、児童の希望によりグループを編成。

① 講話：聴覚障がい理解コース約30名

- ・日常生活の中で困ることや、不便さを解消するための手立て等について、聴覚障がい2名の方から話を聞く。（手話通訳あり）

② 手話体験：聴覚障がい理解コース約30名

- ・聴覚障がいの方1名から指導を受ける。（手話通訳あり）

〔意思表示のために必要な手話、自己紹介に必要な手話、
学校生活に関連する言葉を表す手話 等〕

③ 発表会：各学級で実施

- ・グループ毎に発表を行い、それぞれのコースでの学びを学級全体で共有し、様々な障がいについて理解を深める。
- ・「聴覚障がい理解コース」で学んだ児童は、簡単な手話の実演を交えて発表を行い、学年全員が簡単な手話を体験できた。

（5）成果

- 手話に興味を持ち、もっと知りたいと思う児童が増えた。
- 手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった児童もいる。
- 障がい者に関するニュースが児童の会話にあがるようになった。

〈児童感想 一部抜粋〉

今まで、障がいのある人を見かけても何をしてよいかわからなかったが、簡単な手話を学び、自分にもできそうなことがあると思えるようになった。手話が難しいときも、表情や身振り・手振りで気持ちを伝えていきたい。